

公開審議事項

件名・議案	提案者	資料 (頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者	根拠規定等	
1. シンポジウム等						
提案 1	公開シンポジウム ぼうさいこくたい 2025 in 新潟「能登 半島の経験に学ぶ～ 地震・液状化・大 雨・大雪に対する自 助・共助・公助～」 の開催について	土木工学・建築 学委員会委員長	2	主催：日本学術会議土木工学・建築学委 員会 IRDR 分科会、防災減災連携研究ハブ (JHoP) 日時：令和 7 年 9 月 6 日（土）10：30 ～ 12：00 場所：朱鷺メッセ 新潟コンベンション センター（新潟県新潟市中央区）（ハイ ブリット開催） ※第三部承認	—	内規別表第 2

公開シンポジウム
 ぼうさいこくたい2025 in 新潟
 「能登半島の経験に学ぶ～地震・液状化・大雨・大雪に対する自助・共助・公助～」
 の開催について

1. 主 催：日本学術会議土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会、防災減災連携研究ハ
 ブ (JHoP)

* 「ぼうさいこくたい2025 in 新潟」は内閣府が主催のイベント

2. 共 催：なし

3. 後 援：なし

4. 日 時：令和7 (2025) 年9月6日 (土) 10:30 ～ 12:00

5. 場 所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
 (新潟県新潟市中央区万代島6-1) (ハイブリット開催)

6. 一般参加の可否：可
 一般参加者の参加費の有無：無

7. 分科会等の開催：開催予定なし

8. 開催趣旨：

東日本大震災、能登半島地震では、人口減少や高齢化が進む地域での「災害時の課題」
 が明らかになった。災害に強い地域を築くために、分科会の知見を活用し、目指すべき災
 害の備えについて「自助・共助・公助」の主体と連携し議論する。

9. 次 第：

10:30 『趣旨説明』
小野 裕一 (日本学術会議連携会員／東北大学災害科学国際研究所所長
／教授)

10:40 【基調講演】能登半島地震・豪雨災害の教訓に基づく広域地域災害への備
 え
 竹内 徹 (日本学術会議第三部会員／東京科学大学名誉教授)

10:55 【報告：活動・事例1】

- 「能登半島地震に学ぶ液状化リスクと対策」
三村 衛（京都大学名誉教授／一般財団法人GRI 財団 理事長）
- 11：05 「大雨（仮題）」
小山 真紀（岐阜大学高等研究院地域減災研究センターセンター長）
- 11：15 「雪氷災害（仮題）」
中村 一樹（国立研究開発法人防災科学技術研究所雪氷防災研究センターセンター長）
- 11：25 **【総合討論】**
（モデレーター）大原 美保（日本学術会議連携会員／東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター教授）
（パネリスト）登壇者：竹内 徹、三村 衛、小山 真紀、中村 一樹
- 11：55 閉会挨拶
松浦 象平（日本学術会議土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会 IRDR 活動推進小委員会委員／国立研究開発法人防災科学技術研究所企画部次長）

10. 関係部の承認の有無：第三部承認

11. 関係する委員会等連絡会議の有無：無

（下線の講演者等は、主催分科会委員）